



10月5日 町民体育祭

# 広報 よいた

2003. 11月号 No.449

## CONTENTS (目次)

町民体育祭	2・3
町職員給与・定員管理状況	4・5
与板高校創立60周年記念式典	6・7
市町村合併情報	8・9
受賞おめでとうございます	10
与板のお宝紹介	11
フォトピックス	12・15
お知らせ	16~17
くらしのカレンダー	22

### ● 一葉会 ●

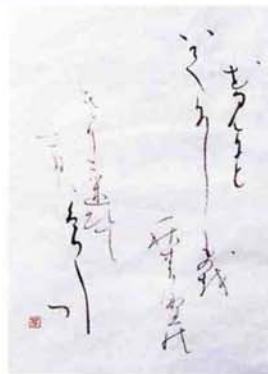


「山間の秋」

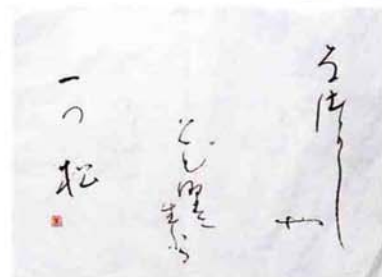
服部三夫 (江西三丁目)

### ● すみグループ ●

MY HOBBY



倉品ハナ  
(横町)



土田美芳  
(安永)

## 広報クイズ

さあ!あなたもチャレンジ

次の問題の答えをはがきを書いてお送りください。抽選で5名の方に図書券を差し上げます。

- 〈問題1〉9月23日(火)の第2回わいわいカップ“KIDS”サッカー大会に出場した与板ジュニアサッカー団は2つの部で上位入賞を果しましたが、2年生以下の部ともうひとつは?
- 〈問題2〉10月12日(日)の与板削ろう会の優勝者、原利夫さんが削りだした鉋屑の厚さは?
- 〈問題3〉10月25日(土)に記念式典の行われた与板高校は今年で創立何周年?

応募方法: はがきに答えと住所(町内名で可)、氏名、年齢をご記入の上、次の宛先へお送りください。なお、広報へのご意見、ご要望なども書き添えていただければ幸いです。

応募先: 〒940-2492 (役場専用)  
与板町役場 総務課「広報クイズ」係  
締め切り: 11月25日 (当日消印有効)

与板は秋から冬の間、上旬から中旬にかけて毎月大きな行事があるのですが、月の初めに来る行事はどうしても編集日程の都合上、翌月の掲載となってしまう。10月号掲載の与板まつり、11月号掲載の町民体育祭、12月号掲載の文化祭等、みなさんのお手元に広報が配布される頃には、終わってから1ヶ月以上経過している行事も多いのですが、読まれた方が行事を鮮明に思い出せるように、また、行事に参加されていない方にも町内であったことを詳しくお伝えできるように心がけたいと思います。

(広報担当 近藤)

## 編集後記

10月31日で1さいになったまおだよ。音楽が大好きでTVからのCMにでも体が勝手に動いちゃう。特にラップがお気に入り。ノリノリ♪はずかしがりやだけど、みんな友達になってね。

## わが家のアイドル

の がわ ま お  
野 川 真 碧さん  
《城山一丁目》  
父 雅 裕 さん  
母 美穂子



# みんなで走り・跳び・揃え・回り

# スポーツの秋を楽しみました

## 町民体育祭

組



ゴールと同時に崩れ落ちるチームもたくさんありましたね。(スクラム競争)

駆



子どもたちが一生懸命走る姿がかわいらしくて印象的でした。(幼児レース)

揃



ベースを揃えても、歩幅を合わせるのが難しいですね。(二人が五脚競争)

10月5日(日)、今年も小学校グラウンドで町民体育祭が開催されました。前日の雨のためにグラウンドがやや湿った状態での開会でしたが、まもなく空が晴れ渡り、絶好の体育祭日よりとなり、全30町内のみなさんが各種の競技で心地よい汗を流しました。

接戦が続きます。(小中学生リレー)

走



今年の1位は江西二丁目でした。(混合リレー)

潜



低姿勢からのダッシュは大変です。(障害物リレー)

回



一番外側の方がついていけずに転んでしまうことも度々。(台風の目リレー)

賞

引

握力、腕力、背筋力、脚力。全身の力が必要です。(綱引き)

踊

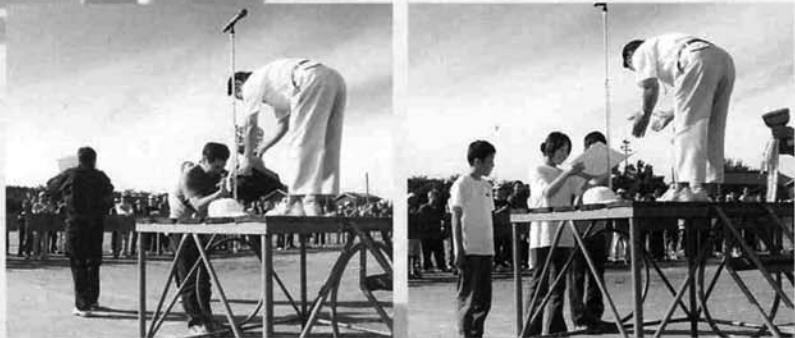
楽しそうに踊る姿がとてもかわいらしいですね。(マスゲーム)

跳



見事に呼吸が合っていますね。(大なわとび)

- |  |   |                       |  |   |
|--|---|-----------------------|--|---|
| <p>競技の部</p> <p>優 勝 安永</p> <p>準優勝 柳之町</p> <p>3 位 泉丁</p> | <p>応援の部</p> <p>優 勝 榎原</p> <p>準優勝 本与板</p> <p>3 位 城山二丁目</p> | <p>敢闘賞</p> <p>蔵小路</p> | <p>小中学生リレー</p> <p>優 勝 本与板</p> <p>準優勝 堂前中島町</p> <p>3 位 榎原</p> | <p>混合リレー</p> <p>優 勝 江西二丁目</p> <p>準優勝 中町</p> <p>3 位 船戸</p> |
|--|---|-----------------------|--|---|



援

みなさんの声援は、選手の方たちにも心強かったですよね。

(7) 特別職の報酬等の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	給料月額等
給料	町長 712,000円
	副町長 556,000円
	教育長 499,000円
報酬	議長 270,000円
	副議長 204,000円
	議員 189,000円
期末手当	(支給割合)
	町長 6月期 1.7月分
	副町長 12月期 1.8月分
	教育長 計 3.5月分
	議長 6月期 1.7月分
副議長 12月期 1.8月分	
議員 計 3.5月分	

(6) 職員手当の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	与板町	国
期末手当・勤勉手当	(支給割合)	同じ
	期末手当 勤勉手当	
	6月期 1.55月分 0.7月分	
	12月期 1.7月分 0.7月分	
計 3.25月分 1.4月分	職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	
退職手当	(支給率) 自己都合 勤続20年 21.0月分 28.875月分	同じ
	勤続25年 33.75月分 44.55月分	
	勤続35年 47.5月分 62.7月分	
	最高限度額 60.0月分 62.7月分	
	その他の加算措置 定年前早期退職特例加算措置(2~20%)	
	退職時特別昇給 20年以上1号給、定年または、勤奨の場合1号給加算	

(8) 部門別職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日現在)

	職員数	対前年増減数	主な増減理由	
				平成14年
一般行政部門	議会	2	2	
	総務	19	20	1 市町村合併に向けての増
	税務	4	4	
	民生	4	5	1 介護保険事業からの増
	衛生	5	5	
	労働	1	1	
	農林水産	3	3	
	商工	4	4	
	土木	4	4	
	小計	46	48	2
特別行政部門	教育	22	23	1 教育長就任による増
	小計	22	23	1
公営企業	下水道	1	1	
	介護保険	3	2	△1 民生部門への減
	国保	2	2	
	小計	6	5	△1
合計	74	76	2	

※ 職員数合計欄は教育長を含みます。



# 与板町職員の給与・定員管理の状況

与板町職員の給与のあらまし等を町民の皆様にお知らせします。

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) 13年度 の人件費率
平成14年度	H15. 3. 31 7,581人	3,121,508千円	86,727千円	549,849千円	17.61%	19.87%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

(2) 職員給与費の状況 (普通会計予算)

区分	職員数 (A)	給与				一人当たり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
平成15年度	73人 ( )	240,240千円	34,488千円	98,231千円	372,959千円	5,109千円

(注) 1. 職員手当には退職手当を含みません。  
2. 給与費は当初予算に計上された額です。  
3. 介護保険特別会計、下水道事業特別会計は除き、教育長は含みます。  
4. ( )内は再任用職員です。

(3) 職員の平均給料月額及び平均年齢 (平成15年4月1日現在)

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
与板町	274,274円	37.3歳	246,630円	41.8歳
新潟県	359,981円	42.8歳	336,142円	45.5歳



(4) 職員の初任給の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	与板町		国		新潟県		
	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後	
一般行政職	大学卒	171,500円	185,600円	171,500円	185,600円	178,400円	191,600円
	高校卒	139,500円	149,200円	139,500円	149,200円	144,000円	155,000円

(5) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
代表的な職種	主事補	主事	主事	主査	副参事 係長	課長補佐 参事	課長補佐	課長	
職員数	6人 ( )	8人 ( )	13人 ( )	1人 ( )	10人 ( )	2人 ( )	7人 ( )	0人 ( )	47人 ( )
構成比	12.8% ( )	17.0% ( )	27.7% ( )	2.1% ( )	21.3% ( )	4.2% ( )	14.9% ( )	0.0% ( )	100% ( )
参考 1年前の構成比	11.1% ( )	6.7% ( )	33.3% ( )	2.2% ( )	31.1% ( )	0.0% ( )	15.6% ( )	0.0% ( )	100% ( )

(注) 1. 与板町の給与条例に基づく給料表の区分による職員数です。  
2. 一般行政職員数は、総職員数75名から、税務職、保健師、幼稚園教諭、技能労務職を除いた人数です。  
3. ( )内は再任用職員です。

# 新潟県立与板高等学校創立60周年記念式典挙行される

本校は、昭和17年与板実科高等女学校として設置認可を受け、第二次大戦がもつとも熾烈であった昭和18年新潟県与板高等女学校として改称、5月15日井伊神社祭礼日

を開校記念日とする。昭和23年新潟県立与板高等学校と改称されました。幾多の変遷の歴史を刻みながらここに創立60周年記念式典を挙げる運びとなり、誠に感慨無量・欣



60周年記念体育祭



快にたえないところであり、この地域における教育の中心として60年の歳月を積み重ねてまいりました。昭和21年に第一回生が巣立ってより今日まで卒業生は14,000有余名を数えますが、それぞれが有為な人材として各界で活躍しておいでのことはこの上なく喜ばしいことと存じます。

この間、本校の発展に尽くされました教職員をはじめ、PTA、同窓会の皆様のご苦勞に對して、深く敬意と感謝を表するものであります。

生徒の皆さん、現在と言う時間は過去の上に成り立ち、

未来は現在を土台としてできあがっているわけです。つまり皆さんは第一回の卒業生と一つの歴史の糸で結ばれているわけです。こうした点に思いをいたし、さらに精進を重ねるために、同窓の方々とともに60年の歴史を振り返ってみるのも意義深いことと思えます。



60周年記念文化祭

今、県立高校では学校統廃合が県の教育課で進められております。歴史と文化、自然環境のとのつた地に、伝統と歴史を刻んだ母校を存続するためにも学校のイメージアップをはかりながら皆さんとともに守っていきたいと願っております。記念式典に來賓、関係各位、保護者650名出席のもと、本校同窓生のシャンソン歌手倉本うらら氏、日本作詞家協会、司会業の近藤しげる氏をお迎えしての記念コンサート、記念祝賀会には、來賓、同窓生、関係各位150名の出席をいただき、演歌「嶋田君代シヨウ」、本与板神楽保存会より神楽舞い、伊達舞踊より踊りの数々で楽しい一時をお過ごしいただきました。記念事業の計画、実施にあたりましては、厳しい不況の苦境下に在りながらも同窓生、後援会、学校をはじめ各方面から格別のご理解と多大なご支援、ご協力を賜り、誠に在り難く衷心から深く感謝申し上げます。県立与板高等学校が60周年を契機に新たな発展を遂げますことを町民とともに祈り致します。

新潟県立与板高等学校  
創立60周年記念事業  
実行委員長  
丸山 信雄

## 地域の高校として

校長 中村 重樹

今年、当校、県立与板高等学校は60周年を迎えました。これを記念して10月25日には、式典と祝賀会を盛大に行い、お集まりの皆さんとこれまでの歴史を振り返りながら、これからも地域の高校として発展することを誓い合いました。

県立与板高等学校は、昭和18年4月に新潟県与板高等女学校として、開校しました。当時は第二次大戦の真っただ中で、物資も乏しく、若者が戦争にとられ始めていた頃でしたが、国家百年の大計である教育に対する思いと三島郡の中心与板町に中等教育の学



まちあいステーション作品展示

現在、1学年4学級全部で12学級ですが、多様な生徒の希望に答えるように、平成15年度入学から、6つのコースを設けて授業を行っています。教科の授業のほかに、小学校や中学校と同じように「総合的な学習」を行っています。これにも地域の方々のお力を借り、講師になつていただいた、例えば「地域の達人に学ぶ」授業を行ったりしてきました。部活動も、かつて野球部が甲子園に行つたかもしれないあの時の

## 祝 新潟県立与板高等学校創立六十周年記念式



倉本うららさんによる記念コンサート

ように、再び力を入れ始めています。

ここ最近、少子化などの影響もあり、また高校改革の一環で、高校の統廃合が話題になったり、新しい形態の高校が誕生したりしています。当校も、平成17年にはかつて分校であった県立寺泊高等学校との統合が予定されています。これまでの与板高等学校60年の歴史と伝統に新たなページを加えスタートすることになります。地域の学校として当校を生み出し育ててくれた町民の皆様のご支援をこれからもお願いいたします。

## 与板高校校友会会長

小 熊 身 和

去る10月25日、來賓各位をはじめ、同窓会、保護者の皆様多数御臨席のもとに、本校創立60周年の式典が挙行されました。

私は校友会会長として、60周年を迎えた現在の与板高校の姿を、是非地域の皆様にご知っていただきたいと思っております。



与板高校の生徒は、明るく個性豊かな生徒ばかりです。ひとりひとりが自分の目標に向かって勉強と部活動両方の面で活気にあふれています。また、帰りの清掃でも積極的に取り組んでいます。そんな温かい雰囲気がある学校の中で、私たちは日々成長しています。

私たちが校友会では、与板の仲間意識を深める事に重点を置き、活動しています。今年の体育祭、文化祭では、今までに築きあげてきた仲間関係がひとりひとりを支え合い、共に協力し合つて

どちらの行事も例年になく盛況でした。私は、与板生は秘めた力を持っていて、人が沢山いるのだと改めて実感しました。

この与板高校の60周年の伝統の上に私たちが新たな伝統を積み重ねていきます。そして誰もが皆、与板高校の卒業生であることを誇れるような学校にしていきたいと思っております。節目の年に与板高校校友会会長であることを光栄に思います。

# 第10回 市町村合併情報

7月10日(木)に与板町・和島村・出雲崎町による三島郡3か町村合併協議会が設置され、第1回目の合併協議会が9月5日(金)に開催されて以来、10月31日(金)に開催された第4回合併協議会までの協議結果についてお知らせします。

## 協議会協定項目の協議計画

提案説明	協定項目	協議時期
第1回協議会 9月5日(金)	合併の方式	第1回協議会
	合併の期日	
	新町の名称	
	新町の事務所の位置	第2回協議会
	財産及び債務の取扱い	
第2回協議会 9月30日(火)	議会議員の定数及び任期の取扱い	第3回協議会
	農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い	
	地方税の取扱い	
	一般職の職員の身分の取扱い	
	特別職の職員の身分の取扱い	
第3回協議会 10月14日(火)	事務組織及び機構の取扱い	第4回協議会
	一部事務組合等の取扱い	
	使用料、手数料などの取扱い	
	町名、字名の取扱い	
	行政区の取扱い	
第4回協議会 10月31日(金) (予定)	条例、規則等の取扱い	第5回協議会
	公共的団体等の取扱い	
	各種団体への補助金、交付金などの取扱い	
	慣行の取扱い	
	消防団の取扱い	
第5回協議会 11月19日(水) (予定)	国民健康保険事業の取扱い	第6回協議会
	介護保険事業の取扱い	
	諮問機関等の取扱い	
	窓口業務の取扱い	
	総務・企画関係事業取扱い	

提案説明	協定項目	協議時期
第6回協議会 12月4日(木) (予定)	広報公聴関係事業の取扱い	第7回協議会
	納税関係事業の取扱い	
	消防防災関係事業の取扱い	
	交通安全関係事業の取扱い	
	公営住宅事業の取扱い	
第7回協議会 12月24日(水) (予定)	保健衛生関係事業の取扱い	第8回協議会
	民生関係事業の取扱い	
	高齢者福祉事業の取扱い	
	児童福祉事業の取扱い	
	環境衛生事業の取扱い	
第8回協議会 1月13日(火) (予定)	農林水産関係事業の取扱い	第9回協議会
	商工・観光関係事業の取扱い	
	都市計画事業の取扱い	
	建設関係事業の取扱い	
	上水道事業の取扱い	
第9回協議会 1月29日(木) (予定)	下水道事業の取扱い	第10回協議会 2月12日(木) (予定)
	電算システムの取扱い	
	学校教育事業の取扱い	
	生涯学習関係事業の取扱い	
	その他の事業の取扱い	
随時	新町建設計画	

・一部事務組合 与板町が加入している一部事務組合は、三島郡清掃センター組合・与板郷消防・畜場事務組合、三島町・与板町ガス企業団、与板町外2ヶ町村水道企業団等  
 ・使用料 体育館等スポーツ施設、文化施設、キャンプ場等の施設使用料等  
 ・手数料 印鑑証明、住民票、戸籍謄本等の戸籍関係証明手数料や所得証明等税関係の証明手数料等  
 ・公共的団体 社会福祉協議会、農業共同組合、森林組合、商工会、文化団体、スポーツ団体等  
 ・慣行 町章、町民憲章、町の木・花、名誉町民制度

※ 協議会の傍聴ができます。開催時間、会場等については、合併事務局(☎78-3880)または各町村役場へお問い合わせください。

## 第4回合併協議会までの協議結果

項目名	協議結果等
合併の方式について	与板町、和島村及び出雲崎町を廃止し、その区域をもって新しい町を設置する新設合併とする。
合併の期日について	合併の期日は、市町村の合併の特例に関する法律の適用を受けられる期限内とする。(継続協議：新町の名称を確定するまで)
新町の名称について	住民参加と公平性確保の観点から広く一般公募により選定する。(継続協議：新町の名称を確定するまで)
新町の事務所の位置について	新町の事務所の位置は、与板町大字与板甲134番地(現在の与板町役場)に置く。
財産及び債務の取扱いについて	3町村の所有する財産及び債務は、すべて新町に引き継ぐものとする。
議会議員の定数及び任期の取扱いについて	3か町村での議会での協議を中心に、12月4日の第6回協議会に結論を求める。
農業委員会の委員の定数及び任期の取扱いについて	新町に1つの農業委員会を設置する。 1 合併特例法の規定を適用し、農業委員会等に関する法律に規定する旧町村の選挙による委員は、合併後1年を超えない範囲内で引き続き在任する。 2 合併特例法の規定適用後の選挙による委員の定数は、30人以下とする。 3 農業委員会等に関する法律に規定する選任による委員は合併時に失職し、合併後速やかに選任するものとする。合併後の選任による委員は、農業協同組合、農業共済組合から各1人とし、新町の議会が推薦する学識経験委員3人の5人とする。 4 合併特例法の規定適用後の選挙による委員の選挙は、新町の農業委員会の区域を分けて、旧町村を区域とする3つの選挙区を設けるものとする。

	上記1の在任期間及び2の定数については、今後調整協議を行っていくものとする ※在任期間及び定数については、今後各町村の農業委員会等の意見を聴きながら調整協議を行っていくことが確認されました。
地方税の取扱いについて	地方税の中で3町村で差異のある税制は、次のとおり取扱うものとする。 1 個人町民税 納期については、与板町、出雲崎町の制度に統一する 2 法人町民税 ア 法人税の税率については、14.7%とする。ただし、出雲崎町については新町において5年間の不均一課税として設ける。 イ 減免、課税免除については、出雲崎町の例により統一する。 3 固定資産税 ア 納期については、与板町の制度に統一する。 イ 課税免除については3町村の例をもとに調整し、新町において設ける ウ 減免については、与板町の例により統一する。 4 都市計画税 税率については、0.14%とする。 5 入湯税 ア 税率については、鉱泉浴場における入湯者1人について、1日150円とする。 イ 課税免除については与板町の例により調整し、新町においても設ける 6 その他 地方税にかかる督促手数料については、与板町の制度に統一し、100円とする。
一般職の職員の身分の取扱いについて	与板町、和島村、出雲崎町の一般職の職員は、すべて新町の職員として引き継ぐものとする。 1 給与、任用、配置その他身分については、公平に取扱うものとする。 2 新町において定員適正化計画を策定し、類似団体の一般職の職員数の定員目標をふまえ、定員管理の適正化に努めるものとする。
特別職の職員の身分の取扱いについて	1 常勤特別職の身分の取扱い 町長、助役、収入役及び教育長の任期等については、法令の定めるところによる。給料の額は、現行の給料額及び同規模の自治体の例をもとに調整する。 2 非常勤特別職の身分の取扱い ①議会の議員及び農業委員会の委員の報酬の額は、現行の報酬額及び同規模の自治体の例をもとに調整する。 ②教育委員会の委員、選挙管理委員会の委員、監査委員の定数、任期については、法令の定めるところによる。固定資産評価審査委員会の委員の定数は3人とし、任期については、法令の定めるところによる。報酬の額は、現行の報酬額及び同規模の自治体の例をもとに調整する。 ③附属機関の委員、その他非常勤の特別職の職員等、新町に設置する必要があるものの人数、任期、報酬額は、現行の制度をもとに調整する。
事務組織及び機構の取扱いについて(基本方針)	1 新町の行政組織については、つぎのとおり取扱うものとする。 (1) 新町の事務所として、与板町役場の現庁舎を有効活用するとともに、現和島村役場庁舎、現出雲崎町役場庁舎(出張所含む)には、主として、それぞれの旧行政区を所管する支所を置く。 (2) 新町の事務組織及び機構については、円滑な住民サービスを行うことが必要とされることから、効率的で住民サービスの低下をきたさないように十分配慮する。 (3) 各種行政委員会の取扱いについては、各根拠法令に基づいて調整する。 2 附属機関等については、次のとおり取扱うものとする。 (1) 関係町村に設置されている附属機関等は統合し、新町に設置する。 (2) 1町村のみに設置されていて、新町において引き続き設置する必要があるものは、新町に設置する。
一部事務組合等の取扱いについて	3町村、または、いずれかの町村で構成団体として加入している一部事務組合等については、他の構成市町村と協議を行い、規約の変更により事務処理を継続することを基本として、調整を進めるものとする。(継続協議：他の構成市町村と協議が終了するまで。)
使用料、手数料等の取扱いについて	1 使用料等については、負担の公平性を確保するため、統一に努め調整していくものとする。ただし、商工観光関係各種施設等の使用料は、施設ごとに独自性を有しているため、現行のとおりとする。 2 手数料については、3町村で差異のあるものは合併時に統一する。与板町における都市計画法に基づく手数料は、現行のとおりとする。
町名、字名の取扱いについて	3町村の区域内の町、字の区域・名称は現行どおりとする。合併時点での町、字の区域・名称を用いることとし、各町村において、事情があるものについては、合併前までに整理し、議会の議決を得ておくこととする。
行政区の取扱いについて	町内会及び集落の区域、名称については、現行のとおりとする。ただし、同一若しくは類似する名称の町内会及び集落名は、住民の意向を踏まえて名称を調整するものとする。合併時点での町内会及び集落名を用いることとし、各町村において、事情があるものについては、合併前までに調整・整理する。



※白い部分は痛み

### 向井画伯の主な経歴等

- 明治34年 京都市に生まれる。
- 大正3年(13才) 京都市立美術工芸学校入学
- 大正5年 油絵が描きたくて同校を中退し関西美術院に入る
- 大正8年(18才) 二科展初入選
- 大正13年(23才) 満州ハルビンに旅行し、同市で初めての個展を開催
- 大正15年(25才) 二科展に入選した。画家を決意、翌年シベリア経由でパリに行き午前中はルーブル美術館に通い模写に専念、午後は下宿で自由制作、夜はデッサンの勉強
- 昭和5年(29才) 帰国、滞欧作11点を特別出品し構牛賞受賞
- 昭和11年(36才) 二科会員となる
- 昭和14年(38才) 陸軍美術協会が結成され会員となる
- 昭和20年(44才) 同志と行動美術協会を結成
- 昭和36年(60才) アトリエと応接間を焼失多くの作品と文献資料が灰燼に帰す
- 昭和57年(81才) 世田谷区名誉区民となる
- 平成7年(93才) 自宅において逝去

この絵の由来等を通じて判ったことは、第一に巨匠画家が専ら民家を描くような大きな転機を与えた原点がこの与板であったということです。第二に戦時中は物心両面に余裕がなく、「欲しがりません。勝つまでは」という世情でありました。町民も終戦を契機として、色々の分野の学習に燃え上がったことでしょう。当時の絵画愛好家達の意欲が感じられます。第三に現存する画伯の数多い絵の中でこのような静物画は非常にめずらしい存在であることです。二度と物置に放置されることのないように与板町のお宝として、また生徒達の良き教材として後世大切にしたいものです。

向井潤吉のアトリエが多くの作品とともに世田谷区に寄贈され、現在区立世田谷美術館の分館となっています。

(水野記)

# 与板町のお宝紹介

中学校長室に飾ってある巨匠向井潤吉の絵が、なぜここにこうしてあるのか疑問に感じ調べました。次のようなことが判りました。

船戸の初代臥牛洞店主濱田整曳(本名英一郎)氏と1才年下の向井画伯とは、商売上のつき合いやそれ以上の友情的な交際を終戦以前からされていたようで、向井画伯の著書「民家と風土」(71頁)に与板町について次のような記述をしています。「与板町を初めて訪れたのはいつだったのか、恐らく終戦1・2年前だったように薄ぼんやりと記憶している。その何度目かには空襲でベチャコンコになった雪の長岡市を横切った行ったが、その夜早速に空襲警報と同時に爆音をきき、山沿いのHさんの家の中で息を殺した経験がある。その頃の食料事情の悪い東京から、この米どころの中心に行ったのは勿論、口腹

の欲があったが、それよりも雁木のある与板の町のおっとりした風格めいた姿に接して、民家というものの面白さについて開眼のきっかけをつくってくれたことであり、従って私の主題となった民家の第一作は当然この町で取材したものである。・・・勿論ここに出来るHさんとは濱田さんではありません。

当時、向井画伯が濱田さんを訪れることを知った町の絵画愛好家達は、有名な画伯から絵の指導を是非受けたいとお願ひし、旧与板中学校の教室で指導をうけた。その際に画伯も一緒に描かれたものがこの絵であったのです。(雲居立雄氏言)

向井画伯は現在ではほとんど見ることのできなくなった郷愁を誘う茅葺農家、石を載せた屋根の家、ひなびた漁村風景や古い町並みを戦後専ら描き続けました。勿論、与板町の住家や雁木、町並み風景を温もりのある色彩と筆づかいでどれも丁寧に描き描いています。その向井潤吉の油彩画が数年前中学校の物置から偶然出てきたのです。おそらく中学校が新校舎に移転するときに紛れてしまったのでしょう。駒形元教育長からこの絵を探すように指示があったようで、歴代の校長の申し送りになっていたということです。

## 受賞・入賞おめでとうございます



### 県卓球大会で3位入賞!

9月21日、中蒲原郡亀田町において開催された、障害のある卓球愛好者の大会「ふれ愛卓球大会」に、山田則広さん(稲荷町)が出演し、第3位に入賞されました。当日は、47名が参加し、30~40代のベテラン選手が多い中、日頃の練習の成果を発揮し、大健闘されました。おめでとうございます。



### 本間 幸夫さん(稲荷町)

—県連名表彰—  
多年にわたり交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に貢献された功績により、新潟県警察本部長と新潟県交通安全協会会長より表彰されました。



### 久保喜久治さん(南新町)

—防犯栄誉銀章—  
多年にわたり、地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献された功績により、警察庁長官・全国防犯協会連合会長の連名で、防犯栄誉銀章を受賞されました。



## Hello from UK 「イギリスからこんにちは。」

7月より与板中学校の新しいALT(外国語指導助手)として、James Gowansさんがイギリスより来町されました。与板はもちろんのこと、日本の歴史、文化に大変興味があるようです。みなさんも積極的に話しかけて、この機会に国際交流してみたいはいかがでしょうか。

Dear readers.

My name is James Gowans and I am the new ALT at Yoita Junior High School. I come from a city in England called Stoke-on-Trent. My home city is close to Manchester and Liverpool and is famous for pottery. Many world famous pottery companies, such as Wedgwood and Royal Doulton come from my home city.

I have been in Japan for three months now. I am really enjoying life in Yoita. In particular, I had a great time at Yoita matsuri and I loved getting involved in traditional Japanese events, such as carrying the mikoshi. I am also enjoying working at Yoita Junior High School and I hope to help make studying English interesting and fun. I have been made to feel very welcome since I arrived in Yoita and I would like to thank you all very much for that. I would like to meet as many of you as possible so please don't be shy to talk to me when you see me around the town. I would also be happy to answer any questions you have about the UK. I'm afraid that my Japanese is poor, but I'm working hard to improve. Once again, thank you very much for welcoming me into Yoita; I am very much looking forward to the rest of my time here.

与板町のみなさんへ

私は与板中学校の新しいALTのジェームズ ガウンズです。

私のふるさとはイギリスのストーク・オン・トrentという町です。マンチェスターとリバプールに程近く、ウェッジウッドやロイヤルダルトンなど世界的に有名な陶器が製造されていることで知られている町です。

日本に来て3ヶ月余りですが、与板での暮らしをとても楽しんでます。特に、与板十五夜まつりで神輿を担ぐなどして日本の伝統行事に参加させていただいたことを嬉しく思います。

与板中学校での勤務も非常に有意義なものです。与板のみなさんが英語に興味を抱き、楽しんでもらえるような手助けをしたいです。

与板に来て以来、みなさんにいただいた厚いおもてなし全てにとっても感謝しています。私はできるだけ多くの町民のみなさんとお会いしたいと思っていますので、どうか、私を町で見かけたら恥ずかしがらずに一声お掛けください。イギリスに関する質問なども大歓迎でお答えします。

今のところ私の日本語はまだ未熟なものです。習得に向け目下猛勉強中です。

与板町での歓待に改めて感謝します。これからのこちらでの残りの時間をとても楽しみにしています。

### 技を競ったスポーツの秋

9月23日(火)秋分の日、与板中学校体育館で、第52回与板地区柔剣道大会が行われました。

三島郡内のクラブ・教室・スポーツ少年団などから集まった選手たちが、日ごろ鍛えた技を競い合い、与板勢が下記のと通りの好成績を収めました。

【大会結果】

柔道の部

団体戦

小学校低学年の部

準優勝 与板町柔道クラブB  
第3位 与板町柔道クラブA

小学校高学年の部

準優勝 与板町柔道クラブA  
第3位 与板町柔道クラブB

個人戦

小学2年生の部 優勝 山岸 萌貴  
小学3年生の部 優勝 安達 昌秀  
小学4年生の部 優勝 片桐 健  
小学5年生の部 優勝 加納 歩  
小学6年生の部 優勝 武士侯雄己  
女子の部 優勝 長谷川 南

一般の部

準優勝 笠輪あづさ  
優勝 星 宏明  
準優勝 樋浦 一樹  
3位 中澤 明弘  
山田 大介

剣道の部

団体戦

小学校低学年の部 優勝 与板町剣道教室  
小学校高学年の部 3位 与板町剣道教室  
中学女子の部 準優勝 与板町剣道教室

個人戦

小学3年生以下の部 3位 藤ノ木 愛  
小学4年生の部 優勝 田中 大一  
小学6年生の部 優勝 荒井 真



### 防災意識の向上を

10月19日(日)、城山地内において、平成15年度町防災訓練が行われました。

マグニチュード6の直下型地震を想定しての避難訓練のほか、与板郷消防と消防団の放水訓練や、町内のみなさんによる消火器と消火栓を使つての初期消火訓練がおこなわれました。

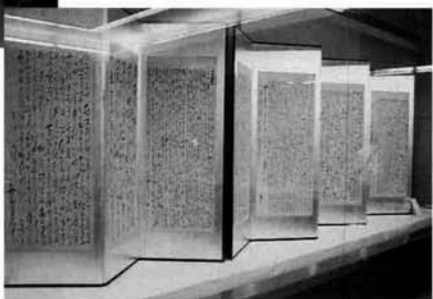
その後町内のみなさんは、与板郷消防署より講師に来ていただいた救命講習で、人工呼吸や心臓マッサージのほか、のどに餅をつまらせたときの対処法などを学び、不意にやってくる危機への対応力を高めました。

これから寒くなると、火を取り扱うことが多くなりますが、無事に年を越せるように十分に気をつけましょう。



### 特別展「山本由之展」開催される

9月9日～10月5日までの間、歴史民俗資料館で開催された特別展「山本由之展」は、約400名の入館者でにぎわいました。良寛の弟として有名な山本由之ですが、良寛とは違った非常に細かく均整の取れた字の作品でした。中でも代表作の歌屏風は百首程の歌を集めたすばらしい物でした。お見逃しになった方は、歴史民俗資料館に「山本由之遺墨集」を販売しておりますので(価格1,200円)、ご購入ください。



### 分水嶺に立ったぞ

9月28日(日)町民登山で新潟県信濃川と群馬県利根川を分かち山谷川岳に行ってきました。

「魔の山」というイメージもある谷川岳ですが、好天でわたしたちを迎えてくれました。日本海側から湧きあがった雲が山頂を超えるとすうっと消える様は、ちょっと感動でした。

また、山頂に近づくとつれて色づきはじめた木々の葉に、一足早い山の秋を満喫してきました。



### 旬を味わいました

子供会では9月27日(土)に白根市大郷(だいごう)へ梨狩りに行ってきました。食べ頃の梨「豊水」を果樹園の方の指導のもと、もぎ取りました。1個600gもある梨、片手では掴みきれない大きさです。背伸びをしながら慎重にもぎ取りました。3個、4個と大きなお土産ができました。また、白根市が梨やぶどうといった果物、農作物の栽培がさかんな理由も教えていただきました。次に「しろね大風と歴史の館」を訪ねました。小雨の中、6畳の凧揚げにチャレンジしました。



おいしい果物も勇ましい大風合戦も、中之口川の洪水の「たまもの」(堆積土)であることも学びました。

### 直江兼続公講演会

10月19日(日)徳昌寺本堂において直江兼続公をNHK大河ドラマに推進する会の主催により(財)上杉文化振興団副理事長小野栄氏を講師に迎え、「直江兼続と前田慶次」と題して、講演会が開催されました。

当日は約100名の方が、熱心に聞き入っておられました。



## いざ!というときのために・・・

10月14日(火)に与板小学校で火災を想定した避難訓練が行われました。「災害時に素早く安全に避難できる」「日常の防災意識を高める」ことを念頭におき、キビキビと行動しました。

また、消防団の3台のポンプ車による放水訓練の見学や、与板郷消防署の指導を受けながら、職員による消火器を使った初期消火訓練なども行われました。



「すごい水だね。これなら安心だ。」(1年生)、「火はとっても怖かった。火事は起こしてはいけないね。」(6年生)、「訓練を通して、常日頃から児童・職員の防災意識を高める必要があります」(学校長)

それぞれが、火災の怖さ・防災の大切さを感じる訓練となりました。



## オカリナの音色にみんなでうっとり!!

与板保育園では9月26日(金)と27日(土)に、オカリナ、ケーナ、フルート、リコーダー、ギターなどのコンサートがおこなわれました。

10年前から保育園で行っている「あほう鳥」の演奏を、与板町のみなさまにゆっくりと聴いていただきたいと、今年は2日間にわたってのコンサートが計画されました。

1日目の26日には、200人もの方々で会場も満員となり、秋の夜空に響き渡るオカリナやケーナ、ギターの演奏を堪能されました。2日目のファミリーコンサートでは、園児のご家族はもちろん、支援センターのご家族のみなさんも一緒に、オカリナやリコーダーなどの生演奏に聴きいったり、子どもたちの大好きな歌を合唱したりして、なかなかひとときがくりひろげられました。



## 泳ぐ宝石・美の競演

晴天に恵まれた10月19日(日)、第19回与板町・三島町錦鯉品評会が、与板町役場前広場で開催されました。両町合わせて117点の大小色とりどりの錦鯉の姿に、来場された方々は歓喜の声を上げていました。

優勝者は次のとおりです。(敬称略)

- 総合1席 星野 喜一(紅 白)
- 総合2席 山源 錦鯉(大正三色)
- 第1部 梶澤 元春( " )
- 第2部 星 勇( " )
- 第3部 山源 錦鯉(昭和三色)
- 第4部 笠原 和雄(銀 鱗)
- 第5部 山源 錦鯉(孔 雀)
- 第6部 松浦 與喜雄(紅 白)
- 第7部 山後藤 司男(大正三色)

## 元気・活発!! 高齢者スポーツ大会

10月2日(木)、町民体育館において、与板町高齢者スポーツ大会が開催され、各地区代表選手が種目別に熱戦をくりひろげました。

そして、10月17日(金)三島町で開催された三古郡老人スポーツ大会に横山・本与板・岩越連合チームが参加しましたが、残念ながら2連覇ならず第4位となりました。

10/2 与板町高齢者スポーツ大会成績

- 優勝 横山チーム
- 第2位 本与板・岩越チーム
- 第3位 南部チーム



## 母子ともに好成績! わいわいカップ“KIDS”サッカー大会

9月23日(火)、長岡市陸上競技場で開催された第2回わいわいカップ“KIDS”サッカー大会に与板ジュニアサッカー団が出場し、2年生以下の部で決勝トーナメント3位、母の部でブロック優勝という好成績を残しました。

2年生以下の部には24チームが、母の部には16チームが集まり熱戦を繰り広げ、与板ジュニアサッカー団は各年齢層の強さを存分に発揮しました。



## ため息誘う匠の技!

10月12日(日)に「与板削ろう会」と題し、大工道具の「かな」でどれだけ薄く削れるかを競うイベントが与板町商工会の主催で行われました。

当日はプロだけでなく大工仕事が趣味というアマチュア、学生など県内外から約350人が参加し、次々に木材を薄く削りだして行きました。優勝者は4ミクロンの厚さを削りだした上町の原利夫さんでした。原さんの削りだしたカナ屑の後ろの風景が透けて見える薄さに、見ている人からはため息が漏れていました。

ほかにも、「村のかじや」による白装束・烏帽子姿で古式にのっとった刃物づくりの披露、与板の物産品の即売も行われて、参加者は1日楽しんでいました。





# お知らせ

## Information

与板町役場  
72-3100  
FAX 72-3341

「あなたの健康相談」を行いますー話す時間と場を提供しますー

日頃、ストレスが多いと感じますか？多忙な生活や悩みを抱えた生活ではストレスが高くなります。心と体の健康のために健康相談をご活用ください。保健師が相談に応じます。予約制です。待ち時間もなくじっくりとお話ができます。

日時・会場  
11月25日(火)・27日(木)  
保健センター

11月28日(金)  
勤労青少年ホーム  
午後1時30分～2時20分  
午後2時30分～3時20分  
午後3時30分～4時20分  
都合の良い時間帯をお選びください。

申し込み先  
福祉課福祉保健係  
申し込み締め切り  
相談日の2日前まで  
\*基本健診結果説明会を欠席された方へ

あなたの健康相談で「総合結果」について説明いたします。動脈硬化検査や生活習慣調査などから、あなたの健康度がわかります。この機会にぜひ申し込みたい。

「雇用の改善 未来を建設」  
11月は「建設雇用改善推進月間」です

厚生労働省では、建設労働者の雇用改善を図るため、11月を「建設雇用改善推進月間」と定め、各種啓発活動を展開していきます。

建設事業や関係者の皆様におかれましては、雇入通知書の交付、雇用管理責任者の選任、職業能力開発、労働福祉の増進などの雇用改善に取り組まれ、若者や女性にとっても魅力のある職場作りを努められるようお願いいたします。



## 新しい町の名称募集!!

三島郡3か町村合併協議会では、新しい町の名称を募集します。たくさんの方の応募をお待ちします。

募集期間  
平成15年11月15日(土)～  
12月15日(月)

応募資格  
どなたでも応募できます。ただし、応募は応募方法にかかわらず、ひとり1点限りです。ひとり2点以上の応募があった場合は、全て無効とさせていただきます。

応募方法  
11月中旬に応募用がき添付のチラシを全戸配布します。そのチラシ以外にも官製はがき、封書、FAX、Eメール、インターネットでも応募できます。必要事項を記入のうえ投函・送信してください。ご持参くださる場合は、必要事項を記入のうえ与板町役場または合併協議会事務局までお持ちください。役場・公共施設等にも応募チラシがあります。詳しくは、合併協議会事務局、役場市町村合併担当係へお問い合わせください。  
応募されるにあたり  
・漢字、ひらがな、カタカナ、いづれでも問いません。また、その組み合わせも自由です。  
現在の町村名を使用した名前

でも応募できません。  
・地域の歴史、文化、地理的利用、特色なども含め住民に親しまれる名称を募集します。  
・名称に漢字を使用する場合は、ふりがなをつけてください。  
・名称の由来や理由を簡潔に書いてください。  
・選考と発表  
三島郡3か町村合併協議会で決定し、関係町村広報紙、協議会、だより及び協議会ホームページで発表いたします。  
決定された名称応募者の中から、抽選で10名の方に1万円の商品券などをさしあげます。  
応募された町名に関する一切の権利は、三島郡3か町村合併協議会に帰属します。  
応募・お問い合わせ先  
三島郡3か町村合併協議会事務局  
〒949-1435  
新潟県三島郡出雲崎町  
大字川129番地1  
781-3880  
FAX 781-3882  
Eメール  
gappel@town.izumozaki.niigata.jp  
URL http://www.santougun-gappel.com

## 与板町職員を募集します

職種 初級(一般職)  
採用予定人員 1名  
受験資格 昭和53年4月2日～昭和61年4月1日までに生まれた者  
職種 中級(幼稚園教諭)  
採用予定人員 2名

## 自衛隊生徒を募集します

自衛隊では、中学3年生及び高校1年生までの男子を募集いたします。  
受付期間  
平成15年11月4日(火)～平成16年1月6日(火)  
採用人数  
・陸上自衛隊生徒約250名  
・海上自衛隊生徒約60名  
・航空自衛隊生徒約50名

受験資格  
・日本国籍を有し、平成16年4月1日現在15歳以上17歳未満(昭和62年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者)の男子  
試験日 平成16年1月10日(土)  
採用予定日 平成16年4月上旬  
問い合わせ先  
〒945-10822  
柏崎市穂波1番36号  
自衛隊柏崎事務所  
0257-12413000

## 若年求職者対象

時代変化によるキャリア形成の必要性、キャリア形成の進め方を学び、職業、職務理解を通し、あなたの今後役に立つ能力開発情報の提供やビジネスマナーに関する講習会です。  
日時  
平成15年12月3日(水)～5日(金)  
平成16年1月28日(水)～30日(金)  
ともに午前10時～午後3時30分  
会場  
ポリテクセンター新潟  
長岡市住吉3-1-1  
定員  
30名  
(定員になり次第締め切り)  
問い合わせ先  
雇用・能力開発機構  
新潟センター  
0251-24010531

## 11月11日～17日は「税を知る週間」です

国や県・市町村は、私たち国民が安定した暮らしができるように、社会保障の充実、住宅や道路の整備、教育や科学技術の振興など、幅広い活動を行っています。  
税は、このように国や県・市町村が活動するための大切な財源であり、私たちが生活の向上と安全を願う限りどうしても負担しなければならぬ、共同社会を維持するためのいわば「会費」といえます。

国税庁では、このように私たちの生活に欠かせない税についてより深く知っていただくため、毎年11月11日から17日までの期間を「税を知る週間」として、全国的に税について各種の広報活動を実施します。  
是非この機会に、税について考えてみてはいかがでしょうか。

## ケーブルテレビについて企画課から

加入を希望される方は、ケーブルテレビの加入者は、10月20日現在816世帯になりました。また加入金の割引は12月末日まで、町の補助金も平成17年3月31日までとなっておりますので、加入を希望される方は働エヌ・シー・ティ又は役場企画課へ申し込みください。  
新サービス開始!  
ケーブルテレビでは、11月1日より「IP電話ケーブルフォン」が加わりました。これは加入者間無料、固定電話にも格安でかけられるインターネットの技術を利用した電話です。全国のOCN、ニフティ、ビッグロブ、ケーブルテレビ等のプロバイダー加入者が無料となりまります。  
また、インターネットに30メガサービスが追加されました。ケーブルテレビはますますサービスの内容が充実して、町民の皆さんの情報化を応援します。詳しくは、働エヌ・シー・ティまでお問い合わせください。  
お問い合わせ先  
サービス等に関すること  
働エヌ・シー・ティ  
033-10917  
その他に関すること  
企画課 内線223

時間外診療当番病院  
11月16日～12月15日  
<休日の診療当番病院>  
月 日 曜日 内科・外科・産婦人科  
11 16 日 立川総合病院  
23 日 長岡赤十字病院  
24 月 長岡中央総合病院  
30 日 立川総合病院  
12 7 日 長岡赤十字病院  
14 日 長岡中央総合病院  
<平日の夜間救急病院>  
月 曜日 病院名  
10月 月・木 長岡中央総合病院  
12月 火・金 立川総合病院  
水・土 長岡赤十字病院  
電話番号  
長岡赤十字病院 (代) 28-3600  
長岡中央総合病院 (代) 35-3700  
立川総合病院 (代) 33-3111

ますのお茶の間  
スペースかたこん  
「11月19日(水)開催」  
●午前10時～  
「趣味の小物づくり」  
「折り紙教室」  
ラップの芯や空き箱を利用して自分だけの小物入れを作いませんか!!!  
大好評の折り紙教室も開きます。  
●午後2時～  
「映写会」  
なにが上映されるか楽しみにしてください!!!  
まちのお茶の間です。ぜひ一度寄ってみてください。  
～お待ちしております～  
お友達と一緒にお出かけください。  
～お待ちしております～  
場所 中町「よいた街・愛ステーション」  
介護予防を考える会(与板町役場福祉課)

志保の里荘より  
ホットな情報  
12月7日(日)午後1時より2階大広間のステージにおきまして、「いづみ会」による発表会が行われます。  
皆様お誘いあわせの上、ご来館ください。  
72-4649へ

# 戸籍事務のコンピュータ化により 戸籍謄本、抄本がみやすくなります

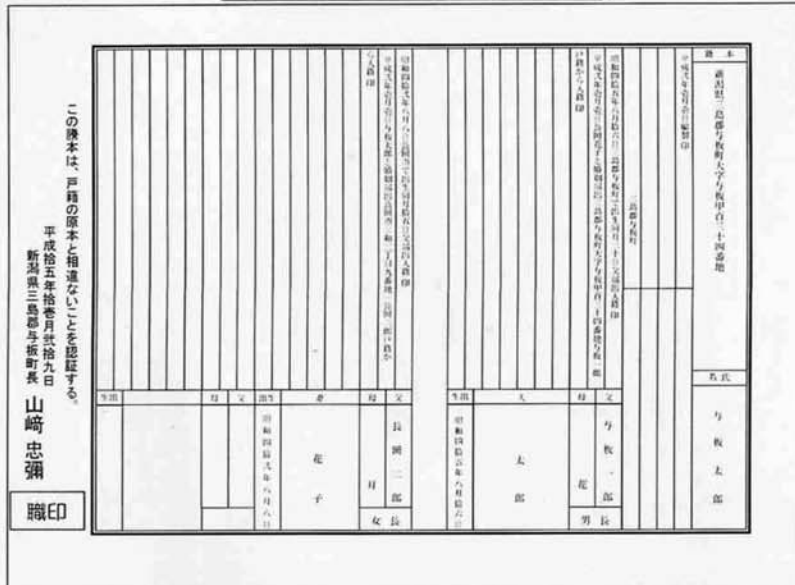
11月29日から与板町に本籍のある方の戸籍がコンピュータ化されます。  
これにより、戸籍謄本は全部事項証明書に、戸籍抄本は個人事項証明書にそれぞれ  
名称が変わり、横書きとなって見やすくなります。

## 現在の戸籍と電算化後の戸籍


現在の戸籍  
(戸籍謄本)

➔

電算化後の戸籍  
(全部事項証明書)



この謄本は、戸籍の原本と相違ないことを証明する。  
平成15年11月29日  
与板町三島町与板町長 山崎 忠彌 職印



平成15年11月29日  
与板町三島町与板町長 山崎 忠彌 職印

コンピュータ化に伴い、これまでの紙の戸籍は「平成改製原戸籍」となります。  
コンピュータ化後は、婚姻や死亡等の理由ですでに除籍されている人は記載されません。  
平成15年11月29日以降もコンピュータ化前の戸籍は100年間保存され請求できます。

※なお、先月号で掲載したとおり文字を置き換える必要のある方には、事前にご理解をいただくため告知書を11月上旬にお送りしてあります。



●問い合わせ先●  
町民課 戸籍係  
☎ 72-3100  
内線 134

# 広がるボランティアと与板町に見る共存共栄

赤十字奉仕団は、災害時に備えての炊き出し訓練や、生命と健康を守る講習の普及活動、そして地域の福祉活動としてグリーンヒル与板でのボランティア、ひとり暮らしのお年寄りを招いての会食会など幅広い活動を行っています。

今回は、10月に実施された「ひとり暮らしふれあい会食会」でお年寄りに心のこもった手作りお弁当を作ったさつた赤十字奉仕団員のみなさんと会食会に参加されたみなさんにお話を聞いてみました。



**赤十字奉仕団の中野マサ子さん(安永)**  
今日のふれあい会食会で、お年寄りたちと交流をもたれた感想はいかがでしたか？  
「赤十字奉仕団のみなさんで一生懸命作ってきたお弁当なので、みなさんにおいしいそうに食べていただけ、とても嬉しかったです。できれば、今日の会食会に参加できなかったお年寄りのみなさんにも来ていただきたいかったですね。」



**ひとり暮らしふれあい会食会に参加されたお年寄りのみなさん**  
今日の保育園児のみなさんとのふれあい授業と、ふれあい会食会の感想はいかがですか？  
「1人で家ばかりいるので、今回は本当に楽しかったです。」

「普段触れ合えない子どもたちと接して、一緒に『ふるさと』を歌って嬉しかったです。」  
「子どもたちが上手にカルタやお手玉をし



「子どもを育てていた時のことを思い出しました。」  
「ひとり暮らしの私を気にかけていただけたおかげで元気で居られます。」  
「おかずのひとつひとつに、とても手間がかかっている、よくできていてみんなおいしくいただきました。」  
「こんなことをしてくれるのは、与板だけです。ありがたく思っています。」

二万人百才生ましたルバー先生  
子 八

川柳

十五夜の山車の七福笑ひ吹き  
峠の志保の湯笑顔の友よ  
山 村

何だてものの終わりは淋しいの  
鶏頭なげに終をばなやぐ  
痴野 采月

彫刻とほりゆくごとく大株の  
里芋の土小屋にうおとす  
大橋 ヨリ

東の空より見えし雁の群  
薄月をこして飛び行けり  
日浦 美紗

短歌

俳句

詩

歲月

雁鳴くや生きて居たかの声と聞け  
山野 宵月

空澄みて上がる意欲の体育祭  
真島ヨシノ

鶏頭花庭一面に種ほす  
田中美美女

祖母偲ぶかりがね送るわらべ唄  
神田 喜世

秋澄みてゲートボールの声とおる  
沢田 裕子

雁の音にふと目覚めては夫偲ぶ  
水森 董

母逝きて三歳半ばや曼珠沙華  
日浦 美紗

八海の雲海背にし山降る  
大矢 政子

秋澄みて靴が風切る朝の道  
平沢 岩夫

思い出にのこる栢家に鶏頭燃ゆ  
黒川 芳水

研修人ルバーの秋と吾が胸に  
司 城

紅葉の美しい峰にドライブしよう  
手打ソバも食べたし行こうな  
じきに治るからなとにっこり笑った  
日増しに顔色も良くなつて  
手鏡ばかり眺めて行動範囲の願望  
止まりなく広がっていく  
白いベツトは限りなく心を暗くする  
華やかな花を活けて癒される雰囲気  
沢山に盛り込んで励ます  
絶対行こうねって微笑みかえす  
毎日同じとお互いが言葉を見え出せない  
困り果てると両手をしっかりと握る  
握り返されると嬉しくて涙が零れる  
あなたとわたし弱虫だらけ  
強がってみても最後は何時も濡れ臉  
そしてあしたへの橋渡し……ね

昔 夫婦が  
健康と 貧富について  
議論していた

引揚げ船に 身を委ね  
奇跡の 生還を果たした妻は  
吞まず食わずの 乏しき、  
悲惨さを、涙を流し乍ら  
強調している。

病弱だが 中流家庭のオッサマは  
「健康さえあれば  
世の中に怖いものなんて無いさ」  
と、ゆずらない

今、晩秋の日さしから  
お互いを いたわりあう、  
屈託のない  
談笑が 洩れてくる。  
何ことも 無かったように。

黒川弥寿栄

50年近く途絶えていた風習。  
昔を知る年配の方に指導を受け、広神村の斎の神を見に行き、与板の斎の神は本与板の地域PTAが主体となって復活させた。

賽の神とは道祖神のことで、杉の生木と竹・杉枝などを組み立てて焼き、正月飾りを燃やして五穀豊穡、無病息災を祈る。与板でもかつてはおこなわれていた冬の行事だが、昭和の始めから行われなくなり、以来50年間途絶えてしまっていたという。

小学生の子どもをもつ本与板地域PTAのみなさんは、昭和50年度の年次計画を立てる際、町内の行事として賽の神を行ってみることにした。「子どもたちに見せてあげたいという気持ちが発端だったのですが、何しろ50年間途絶えていた行事なので、当時の記録が残っていない。途絶える前の斎の神を知っている方にアドバイスしてもらったり、他地域で行っている様子を見に行ったり、準備をすすめるうちに自分たちでも見てみたいと思い始めました。」(当時の地域PTAの男性)

三島谷の点火現場へ見学に行った時に見たものは本当に奇麗だったという。

そして、昔を知る年配の方に現場指導を受け、賽の神を組み立てはじめる。場所は現在の公民館前ではなく、農道に面した越後交通の線路沿いの敷地を借りた。正月飾りだけでは寂しいので、竹や、急激に燃え上がるのを防ぐための杉枝など

も組み込み、材料は各農区PTA分担の持ち寄りだった。

神主さんの神事の間、スルメを刺したり、つるしたりした棒を手にした子どもたちは点火を待ちきれない様子だったという。当時の区長さんによって賽の神への点火がおこなわれ、参加者のみなさんからは歓声が上がった。白黄色の煙がもくもくと立ち昇り、賽の神は6時間燃え続け、各自は持ち寄ったスルメや餅を焼いて食べていた。子どもたちは初めて体験する行事に、年配の方は懐かしい行事の復活に喜んでいただいたという。



新刊図書

安政五年の大脱走  
五十嵐貴久 著  
大老として幕府内での権力を確立し、勤皇派に對抗し得る唯一の存在となつた井伊直弼。彦根で過ごした鉄之介時代や、強引な政治姿勢を思わせる安政の大獄幕末の桜田門外の変に倒れるまでを描いたフィクション。



やまない雨はない  
倉嶋 厚 著  
妻を失った悲しみと喪失感。押し寄せる後悔の波と罪悪感。  
うつ状態の中で、「人生も落ちていく間は辛けれど、底をついてしまえばあとは上がるだけ。」と気づいたとき、毎日ていねいに生きていける。著者の実感から生まれた人生の応援歌。



— 晩秋のなごりに —

エコクラフトと油絵の作品展を  
開催します。散策の折にお立ち寄りください。  
期間 平成 15 年 11 月 1 日 (土)  
～ 11 月 30 日 (日)

会場 画房絵家 (下丁)  
出展作家  
エコクラフト エコクラフト同好会 (和島村)  
油 絵 長 谷 川 音 松 (下 丁)

国民健康保険税・介護保険料 (8期 11 月分)

●納期限は……12月1日(月)です  
\*納税は、便利な口座振替をお勧めします。  
手続きは役場町民課または、町内の金融  
機関でお願いします。



広域圏  
ガイド

日 会 場 田 連絡先



長岡市

◆ポール・モーリア  
グランド・オーケストラ  
～秋色・パリの恋をした～  
11月20日(木)  
ジル・ガンブス指揮による  
ポール・モーリアサウンドが、  
今ここに響き渡ります。

田 長岡市立劇場  
田 29 - 7715 (財) 長岡市芸術  
文化振興財団事務局

◆爆笑! 吉本オンステージ  
12月7日(日)  
昨年に引き続き、お笑いの  
本場関西から吉本がやってき  
ます。あの大物タレント西川  
きよしと大平サブローの「復  
活! やすきよ漫才」は必見で  
す!

田 長岡市立劇場  
田 29 - 7715 (財) 長岡市芸術  
文化振興財団事務局

見附市

◆宝くじ まちの音楽界  
with サーカス  
11月22日(土)  
「Mr サマータイム」「アメリ  
カン・フィーリング」など、  
素晴らしいハーモニーで観客  
を魅了し続けるサーカスのコ  
ンサートを開催します。

田 見附市文化ホールアルカディ  
ア「大ホール」  
田 63 - 5321

栃尾市

◆地そばまつり  
11月23日(日)  
豊かな自然の中で、太陽を  
いっぱい浴びて育った上塩の  
「地そば」を、挽きたて、打  
ちたてで味わっていただきま  
す。

田 塩谷地区開発センター  
田 52 - 1110 清進興業(有)

◆とちおファミリースキー場  
オープン  
12月20日(土)  
今シーズンで7年目を迎えます。  
スキー、スノーボードは  
もちろん、スノーチュービン  
グもあり、家族そろって楽し  
めます。

田 とちおファミリースキー場  
田 53 - 2390 とちおファミ  
リースキー場

中之島町

◆ダ・カーポ 30 周年コンサート  
12月7日(日)  
ダ・カーポのコンサートは、  
聞く人の心を癒し、元気をく  
れる歌声だと多くの賞賛が寄  
せられています。

田 中之島町町民文化センター  
田 66 - 1310 中之島町町民文  
化センター

人口のうごき

男 3,678 人 (-1 人)  
女 3,875 人 (-1 人)  
計 7,553 人 (-2 人)  
世帯数 2,126 戸 (±0 戸)

出生 4 人 死亡 8 人  
転入 18 人 転出 16 人

(10 月 31 日現在)

くらしの  
カレンダー

あいさつの響く町  
元気の出る町  
みんな笑顔の与板町

日 曜	おもな行事など	日 曜	おもな行事など
11/16 日	与板オープン卓球大会 町民体育館 秋季町民バトミントン大会 中学校体育館	12/1 月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時
17 月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時	2 火	心配ごと相談所 (山田) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分
18 火	心配ごと相談所 (駒形) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分	3 水	乳児健診 対象:平成15年8月生 保健センター/午後1時5分～1時15分受付 1歳6ヶ月児健診 対象:平成14年4月～平成14年5月生 保健センター/午後1時15分～1時30分受付 小学校学習参観
19 水	離乳食教室 対象:平成15年5月～7月生 保健センター/午前10時～10時15分受付	4 木	
20 木	風疹予防接種 対象:平成14年3月～7月生まれ 保健センター/午後1時5分～2時15分受付 中学校期末テスト (21日まで) 幼稚園説明会 二の酉	5 金	
21 金	小学校なかよしフェスティバル 最低賃金周知旬間	6 土	
22 土	いい夫婦の日	7 日	与板少年ミニサッカー大会 町民体育館
23 日	小学校就学時健康診断 高圧ガス危害予防週間 町内対抗ベタンク大会 町民体育館 勤労感謝の日 小雪	8 月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時
24 月	霜降 国連デー	9 火	補聴器巡回相談所 (キコエ) 役場1階直室/午前10時30分～11時 心配ごと相談所 (籠宅) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分
25 火	補聴器巡回相談所 (キコエ) 役場1階直室/午前10時30分～11時 心配ごと相談所 (小林) 役場男子厚生室/午後1時30分～3時30分 ハイビジョンの日	10 水	行政相談 役場男子厚生室/午後1時30分
26 水	乳がん健診 保健センター/午後1時～3時受付 お誕生相談会 対象:平成14年11月～平成15年1月生 保健センター/午前9時15分～30分受付	11 木	2歳児歯科健診 対象:平成13年7月～平成13年9月生 保健センター/午後1時15分～1時45分受付
27 木		12 金	
28 金	税関記念日	13 土	幼稚園発表会
29 土		14 日	町民体育館・LCY・ふれあい交流センター 年末大掃除
30 日		15 月	リハビリ 志保の里荘/午前9時30分～午後3時